

# フロイデだより

## 院長のつぶやき 楠部 滋



早いもので、私が内科医院を開業させてもらってから23年が過ぎました。開業して9年目に始まった介護保険が、高齢者の医療を大きく変えました。家族関係にも、大きな変化を与えているように思います。

今年度から市役所の高齢者支援課が、自宅や高齢者住宅で暮らしておられる皆様の介護だけではなく、医療にも支援をしてくださる制度が始まります。医療と介護を連携させて、できるだけ自宅や高齢者住宅で安心して人生を全うできるような東広島市にしたいということです。

私の医院では早くからデイサービスやケアマネジャー事業所を作り、「地域の皆様に安心して暮らしていただけるサービスを提供したい」と思って、やって来ました。認知機能が悪くなられた方のご要望によって、グループホームも3年前に始めました。これらはいずれも介護保険の事業です。

医療と介護の両方のサービスで、地域の皆様の元気な人生をサポートすることが私の願いです。そのためには法人組織にする必要がありました。法人の名称は、不思議なご縁で正信念仏偈（しょうしんねんぶつげ）からいただいた名前「愛心」を使わせてもらい、「愛心会」としています。

23年間私たちの医療・介護サービスを支えてくださった皆様が住まれるこの町、東広島市。この町で医療・介護連携がうまく進むように、微力ですが努めて行きたいと思っておりますので、今後どうぞよろしく申し上げます。



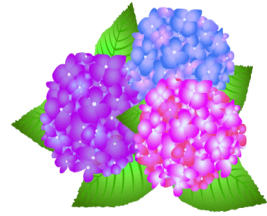
# あじさい茶会

## 元浄寺仏教婦人会のみなさん



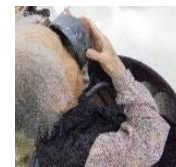
今年もお茶会のご希望があり有難くお引き受けしました。6月22・23・24日の3日間和服姿で、5名が伺わせていただきました。あっという間にたのしくも有意義な時を共有させていただいたことです。お点前は上田流の立礼方式です。利用者代表には椅子席で、スタッフのみなさんには座敷で正座にてお運びしました。お点前がスムーズに運ぶころにはお客様は足にしびれがきていた様子、緊張の一時でした。

西本 宏江様



### (会記)

軸	一期一会	(前大徳寺第玄書)
花	あじさい	縞かや
茶銘	京昔	平野園
菓子	おまんじゅう	(一口で頂けるもの)
主茶碗	飛雲	(本願寺よりの頂きもの)



利用者数 利用者 延74人 スタッフ 延9人

- ごあいさつ ●お茶について
- お点前 (代表の方の作法を見る)
- お菓子をいただく ●お茶をいただく ●感想をのべる
- レクリエーション (舞踊・読み語り・リズム体操・お礼の言葉・最終日には輪になって踊る)

### みなさま方の感想

- 楽しい行事でした ●お茶もお菓子も美味しかった ●和服姿にみとれたよ
- よいお服加減でした ●合掌してくださった ●3日間共参加してよかったです
- お茶会はよいことです ●サンキューVERY MUCH と英語で感想
- 昔習ったことを思い出しました ●笑顔で対応してくださった

利用者の方が持参されたお茶碗です。

### 特記

お茶を習っておられた方が「瀬戸の黒茶碗」をご持参になり、観賞してほしいと申出られました。立派なお茶碗と箱書きに感心しました。有難うございました。



身も心も安らぐ時をすごさせて頂き、お互いにまたの機会を約束しながら、お別れを惜しみつつ会を閉じました。良い機会を与えてくださいましたことに感謝申し上げます。